

第3回 白石町新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金効果検証会議

日時 令和6年5月14日(火)10時～

場所 役場3階大会議室

白石町総合戦略課

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 令和4年度実施事業について
 - (2) 令和5年度実施事業について
 - (3) 効果検証シートについて（令和4、5年度）
- 4 その他
- 5 閉会

国の令和４年度実施計画分

交付金受領額 343,134,295円 16事業

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| ①白石町特産物ＰＲ事業 | ⑪物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業 |
| ②デジタル業務効率化支援事業 | ⑫肥料価格高騰対策事業 |
| ③スマイルしろいし商品券給付事業 | ⑬資材価格高騰支援事業（共乾再編） |
| ④新生児子育て応援特別給付金 | ⑭白石町中小事業者エネルギー価格高騰対策支援金 |
| ⑤白石町米価下落対応次期作支援事業 | ⑮海苔養殖燃油価格高騰対策事業 |
| ⑥ふくどみマイランド公園整備事業 | ⑯しろいしいこカーまるっとフリーDAY |
| ⑦ゆうあい図書館運営費 | |
| ⑧保育園給食材料費等高騰対策費 | |
| ⑨学校給食材料費等高騰対策費 | |
| ⑩白石町医療・介護・障害福祉事業者等物価高騰応援金 | |

①白石町特産物PR事業

総務課
広報情報係

事業概要

アフターコロナに向け、町特産物のファンの獲得や、コロナで落ち込んだ需要を喚起するためオンライン等で、特産物の試食及びSNSを使ったPRを行った。

成果目標

マスコミで取り上げられる回数2回を目標とする。

本町及び特産品の認知度向上と、購買意欲を創出するため、1,000人以上の参加を目指す。

⇒ マスメディアには取り上げられなかったが、1,500人程度の参加があり、Instagram、YouTube、実店舗においてPRを行い、インプレッション数は40,000回を超え、多くの方にPRできた。

事業実績

期間R4.4～R5.3

料理教室最大手のABCクッキングスタジオと連携し、下記のPR事業を実施した。



○メニュー開発・・・しろいしれんこんを活かしたレシピを開発(チヂミ、肉巻きれんこん)

○モニター企画・・・応募者50名に対し、白石れんこんを送付。料理配信を参考に料理し、感想等をSNSへ投稿してもらう。

○試食会・・・・・・・東京、埼玉、福岡の5店舗においてしろいしれんこんの試食会を開催 5会場×5回×60名

事業費

3,190,000円(交付金全額充当)

事業評価

需要が低迷した町の特産物について、首都圏や福岡県への都市圏向けにPRすることができた。

②デジタル業務効率化支援事業

総務課
広報情報係

事業概要

新型コロナウイルス感染症防止対策で多忙化している庁舎内各部署の業務において、通常の業務も含め、行政事務の効率化のため、RPAやAI-OCR等を利用したデジタル化に適した業務の選定・検証を行い導入した。

成果目標

- ・庁舎内業務のデジタル化等による効率化できる業務の抽出「20業務」
 - ・上記の中から、令和4年度中に、RPAやAI-OCR等によるデジタル化を実施する業務実施「10業務」
- ⇒ 庁舎内業務において、デジタル化等により効率化できそうな業務「30業務」を抽出
上記の中から、令和4年度実施する業務についてヒアリングなどを実施により「10業務」に選定し、対象業務に実装作業を実施。最終「9業務」について実施。
(実装しなかった1業務については、翌年度以降運用変更が予定されているため、未着手。)

事業実績

期間R4.5～R5.3

デジタル業務効率化支援事業委託料 5,390,000円

デジタルソフトウェア(RPA、AI-OCR)使用料 1,980,000円

事業費

7,370,000円(交付金全額充当)

事業評価

役場業務において、デジタルによる業務効率化に着手することができ、「自治体DX」の推進に必要な町職員の情報リテラシー(情報活用能力)の向上が図れた。

③スマイルしろいし商品券給付事業

総合戦略課
重点プロジェクト係

事業概要

コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減と地元経済の活性化を支援した。

【類似事業】R2 R3あり



成果目標

効果的な情報発信を実施し、商品券換金率95%以上を目標とする。 ⇒ 結果98%以上の換金率となる。

事業実績

期間R4.5～R5.3

- ・事業主体 白石町、白石町商工会
- ・給付対象者 令和4年6月1日現在、白石町の住基台帳に登録されている者
- ・給付額 1人につき5,000円(500円×10枚綴)
- ・商品券利用期間 R4.8.1～R4.12.31
- ・取扱事業者数 217店舗

- ・発行総額 109,275,000円
- ・換金額 107,779,000円
- ・未換金額 1,496,000円
- ・換金率 98.63%

事業費

115,806,857円(うち、交付金充当112,690,000円)

事業評価

新型コロナウイルスにより落ち込んだ町民の生活を支援し、については地域経済の回復に寄与した。

④新生児子育て応援特別給付金

保健福祉課
福祉係

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子どもを産み育てる家庭を応援するため、新生児1人につき10万円を給付した。

【対象者(対象児)】

◎下記の両方の要件を満たす子ども

- ・令和4年4月1日から令和5年3月31日までに生まれた子ども
- ・申請日時点で白石町の住民基本台帳に記録されている子ども

(給付対象者)

- ・対象児の父または母であって、本町の住民基本台帳に対象児と同一の世帯に記録されている者

※里帰り出産などの短期滞在は給付の対象外とする。

【給付額】

対象児1人につき10万円

【類似事業】R2 R3あり

成果目標

対象者への支給率 100% ⇒ 結果 100%(94人分を交付金で充当)

事業実績

期間R4.5～R5.3 95人× 10万円

事業費

9,500,000円(うち、交付金9,400,000円充当)

事業評価

子育て世帯の経済的負担を軽減し、生活を支援することができた。

⑤白石町米価下落対応次期作支援事業

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少に伴い、令和3年産米の米価が下落し農家収入が大きく落ち込んだ。そのため、次期作(米・大豆)に取り組む農業者の負担軽減のため支援策を講じ、農家経営の安定化を図った。

【事業内容】令和3年産主食用米の作付面積から自家消費相当分を公助した面積を上限とし、令和4年産主食用米の作付面積及び大豆に転換した面積に対し支援

【対象者】下記のいずれにも該当する者

- ・町内に住所を有する農業者及び町内に拠点を置く農業法人等
- ・令和3年産に主食用米を作付けされた農業者等

【交付単価】 1,200円/10a

【類似事業】R2あり

成果目標

対象者への支給率 100% ⇒ 結果 100%

事業実績

期間R4.5～R4.12

- ・対象者数 1,710
- ・対象面積(ha) 2,634.4

事業費

31,612,800円(うち、交付金充当31,000,000円)

事業評価

米価下落による負担軽減のための助成を行ったことにより、次期作へつなげることができた。

⑥ふくどみマイランド公園整備事業

生涯学習課
福富公民館係

事業概要

コロナ禍で町民が町外への外出自粛により町内公園利用が増えている。そこで、利用者が密を避けながら新しい生活様式を踏まえた公園利用ができるよう、さらには、アフターコロナを見据え、町内外から多くの人を訪れて健康づくりや交流の場として利用されるように公園の一体的な整備を行い、町の魅力向上を図る。

成果目標

遊具の整備を行うことにより、休日の来園者を2倍以上に増やす。

⇒ 遊具・トイレの整備前は、休日でも来園者は数名であったが、整備後は、休日の来園者は100人以上と大幅に増えた。

事業実績

期間R4.6～R5.5

- ・遊具施設等設計・施工工事費 48,895,000円
- ・わんぱく広場トイレ改修工事設計監理業務委託料 1,040,600円
- ・わんぱく広場トイレ改築工事費 29,975,000円

事業費

79,910,600円(うち、交付金充当79,895,000円)

事業評価

新型コロナウイルス感染症予防として、施設利用者の感染予防対策が図られた。
多くの人を訪れて交流の場として利用が図られた。



⑦ゆうあい図書館運営費

生涯学習課
ゆうあい館係

事業概要

新型コロナウイルス感染防止対策として、書籍等の除菌や埃の除去ができる図書除菌機を購入した。

成果目標

多くの人に触れる書籍に対し、利用者の不安を軽減し、貸出後に除菌機を使用してもらい安全快適に書籍を利用できる環境整備を行う。前年貸出冊数の2%増を目指す。

⇒ 不特定多数の人が使用する図書の本を消毒することにより、利用者に安心・安全な図書館環境を提供することができた。ただし、貸出冊数については、貸出冊数増を見込んでいた夏休みイベント開催時にコロナ感染者が増え、図書館来館者数が減少し目標冊数に届かなかった。

貸出冊数 令和4年度末 46,201冊 令和5年度末 43,162冊

事業実績

期間R4.5～R4.9

図書除菌機購入費 1,067,000円

事業費

1,067,000円(うち、交付金充当1,000,000円)

事業評価

書籍利用者の感染予防に寄与することができた。

⑧保育園給食材料費等高騰対策費

保健福祉課
こども未来係

事業概要

コロナ禍において給食材料費等が高騰する中で、保育園の提供する給食の質を維持するため、材料費等の高騰分に助成した。

成果目標

給食費を据え置く ⇒ 給食費を据え置き、給食の提供が出来た

事業実績

期間R4.7～R5.5

町補助額 1,477,000円(1号231,000円、2・3号1,246,000円)
うち、県補助額853,000円(1号100%、2・3号50%補助)

事業費

624,000円(うち、交付金充当550,000円)

事業評価

保育園や保護者の負担軽減に寄与できた。

⑨学校給食材料費等高騰対策費

学校教育課
学校給食係

事業概要

コロナ禍において給食材料費が高騰する中、給食の質を維持するとともに、保護者の負担軽減を図るため、学校給食費高騰分相当額に交付金を充当した。

【類似事業】R2あり

成果目標

給食費を据え置く ⇒ 給食費を据え置き、給食の提供が出来た

事業実績

期間R4.7～R5.3

・一食あたり単価の高騰額

小学校 21円(251→272円) 中学校 24円(291円→315円)

・給食日数

小学校 181食 中学校 182食

・交付金算定額

小学校(1～5年生)893名×21円×181食=3,394,293円

中学校(1～2年生)362名×24円×182食=1,581,216円

事業費

4,975,509円(うち、交付金充当4,900,000円)

事業評価

子育て世帯の負担軽減が図れた。

⑩白石町医療・介護・障害福祉事業者等物価高騰応援金

長寿社会課
高齢者係

事業概要

コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている町内の医療機関、介護福祉事業者、障害福祉事業者、保育所等に応援金を交付することで、負担を軽減し、事業継続を支援した。

類似事業 R2あり

【交付上限額】・病院、診療所 50,000円＋ 5,000円×病床数 ※無床診療所は50,000円

・入所系施設 50,000円＋ 5,000円×定員数

・通所系施設 25,000円＋ 1,500円×定員数

・調剤薬局、施術所、訪問系、相談支援、福祉用具 25,000円

・保育所等 25,000円＋ 500円×定員数

成果目標

対象事業者への支給率100% ⇒ 結果 予定89事業者 実績88事業者

事業実績

期間R4.12～R5.3

医療機関(病院・診療所・歯科医院・調剤薬局)39医療機関 (介護事業を行う医療機関・法人を含む) 7,472,500円

介護福祉事業者 19法人 3,958,000円 障害福祉事業者 7法人 911,500円

施術所 15事業者 375,000円 保育所等 8園 547,500円

事業費

13,264,500円(うち、交付金充当11,951,000円)

事業評価

地域の医療介護等の事業者を支援することで、福祉の充実を図ることができた。

⑪物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業

生活環境課
環境係

事業概要

コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている一般家庭及び事業所への負担軽減策として、一定期間、水道料金のうち基本料金を減免することに伴い、水道事業を行う佐賀西部広域水道企業団に対し、減免相当額を補填した。

- 対象者 町内の水道使用者(事業者を含む)。但し、官公庁等を除く。
- 減免内容 水道使用料のうち基本料金分を減免。
- 減免期間 4箇月間(令和5年1月請求分から4月請求分まで)
※令和5年1月検針分(11・12月使用分)及び3月検針分(1・2月使用分)
- 申請手続 申請手続は不要。請求時に基本料金分を減免(控除)して請求する。

- ・白石、有明、福富地域の一部・・・5m³まで 1,410円 10m³まで 1,905円
- ・福富地域の一部(旧西佐賀水道企業団区域) 1,300円

成果目標

対象事業者への支給率100% ⇒ 結果 100%

事業実績

期間R4.12～R5.3

上水道料金 61,639,556円 システム改修費用 517,000円

減免件数 32,627件(11月8,167件、12月8,156件、1月8,155件、2月8,149件)

事業費

62,156,556円(うち、交付金充当55,203,000円)

事業評価

一般家庭や事業所の負担軽減に寄与できた。

⑫肥料価格高騰対策事業

農業振興課
農政係

事業概要

コロナ禍において、肥料価格高騰の影響を受けた農業者、集落営農法人等に対し、化学肥料の2割低減に向けて取り組む農業者等に、肥料費上昇分の一部を支援した。

○対象者 農業者、集落営農法人等

○対象経費 令和4年6月から令和5年5月までの間に適用された価格で農業者に販売された肥料購入費のうち、前年からの肥料費上昇分に係る経費の一部

○補助率 肥料費上昇分(当年の肥料費－前年の肥料費)の15%以内
ただし、県及び町の補助金が肥料費上昇分の3割を超える場合は、町補助金の減額調整を行う場合がある。

成果目標

対象者への支給率100% ⇒ 結果 100%

事業実績

期間R4.12～R6.3

令和4年秋肥(令和4年6月～令和4年10月注文分)、令和5年春肥(令和4年11月～令和5年5月注文分)

肥料価格高騰対策事業補助金 8,649,540円

事業費

8,649,540円(交付金全額充当)

事業評価

農業者、集落営農法人等の負担軽減に寄与できた。

⑬資材価格高騰対策事業（共乾再編）

農業振興課
農政係

事業概要

コロナ禍において、物価高騰の影響により建築鋼材等が高騰し、佐賀県農業協同組合が実施する共乾再編整備事業に係る事業費が大幅に増加した。そのため、共乾利用農業者の負担軽減を図るため、事業者へ支援を行った。

○対象者 佐賀県農業協同組合

○対象経費 産地生産基盤パワーアップ事業(令和3年度から繰越)で整備される、白石、北有明、福富地区の共同乾燥調製施設の再編統合に係る整備事業費のうち、補助対象外経費で物価高騰による事業費の上昇分に係る経費

○補助率 10/10

成果目標

共乾利用農業者の利用手数料の上昇額を1円/kg以内に抑える

⇒ 結果 固定資産取得額の圧縮財源としたことで、共乾利用者の施設利用料の上昇額を1円/kg以内に抑えることができた。

事業実績

期間R4.12～R6.2

産地生産基盤パワーアップ事業補助対象外分の価格上昇額 10,184,500円

事業費

10,184,500円(交付金全額充当)

事業評価

共乾利用農業者の負担軽減に寄与できた。

⑭白石町中小事業者エネルギー価格高騰対策支援金

商工観光課
商工係

事業概要

コロナ禍において、エネルギー価格高騰の影響を受けている町内商工事業者に支援金を交付することで、負担を軽減し事業継続を支援した。

○対象事業者 ・町内に事業所を有しており商工業を営む中小企業・小規模事業者であること。

・令和4年3月1日までに開業していること。

・事業実績があり、今後も事業継続する意思があること。

・町が行う「医療・介護・障害福祉事業等物価高騰応援金」の対象者ではないこと。

○算定方法 光熱・燃料費であって、令和4年4月から令和4年12月までの期間内で使用した合計金額と過去のいずれかの同時期における合計金額を比較し、増加した額の1/2以内とする。

○交付要件 1事業者につき上限額5万円(下限額1万円)

【類似事業】R2、R3あり

成果目標

対象事業者への支給率100% ⇒ 結果:14.9%(実績:119事業者 / 予定:800事業者)

事業実績

期間R4.12～R5.3

119事業者、支援金額4,821,000円

事業費

4,821,000円(交付金全額充当)

事業評価

中小企業・個人事業主の事業継続の後押しに寄与できた。

⑮海苔養殖燃油価格高騰対策事業

農村整備課
水産林務係

事業概要

コロナ禍において、海苔養殖業に係る燃油価格の高騰が海苔養殖業の経営を圧迫していることから、負担軽減のため補助金を交付し事業継続を支援した。

○補助対象者 佐賀県有明海漁業協同組合

○補助対象燃油 A重油

○燃油価格高騰額 19.45円[108円/ℓ(A重油現在価格－88.55円/ℓ(A重油直近3年間平均価格)]

○補助率 補助対象事業費(燃油使用量×燃油価格高騰額)の1/4以内

成果目標

対象事業者への支給率100% ⇒ 結果 100%

事業実績

期間R4.12～R5.3

$(19.45\text{円} \times \text{燃油使用量}479,238\text{ℓ}) \times 1/4 = 2,330,255\text{円}$

事業費

2,330,255円(交付金全額充当)

事業評価

海苔養殖業の事業継続の後押しに寄与できた。

①⑥ しろいしいこカーまるっとフリーDAY

総合戦略課
重点プロジェクト係

事業概要

コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を踏まえ、生活者の地域公共交通の負担軽減を図り、継続的な利用につなげた。

町内を運行するいこカー（定時定路線）の運賃を無料化し、無料となった運賃収入分を運行事業者に補助する。

○期間 令和5年1月～2月の運行日

○補助額 利用者の乗車運賃を全額補助（水曜日のみ県補助補助金を充当）

成果目標

効果的な情報発信を実施し、現在の平均乗車率（1.0名）の3倍を目標とする

⇒ 結果：平均乗車率 1.15名（事業期間平均）

事業実績

期間R4.12～R5.3

補助金 143,550円

チラシ印刷 108,900円

広報用映像制作 249,700円

事業費

502,150円（交付金充当なし）

事業評価

中小企業・個人事業主の事業継続の後押しに寄与できた。

国の令和5年度実施計画分

交付金受領額 143,130,456円 3事業

- ①物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金給付事業
- ②スマイルしろいし商品券給付事業
- ③海苔養殖資材価格高騰対策事業

①物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金給付事業

保健福祉課
福祉係

事業概要

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に直面する住民税非課税世帯等を支援するため、1世帯当たり3万円を給付した。

○支給対象者 基準日時点で本町の住基台帳に記載され、以下の①または②に該当する世帯

①令和5年度住民税非課税世帯

②収入減少等により①と同様の事情にあると認められる世帯(家計急変世帯)

○支給額 1世帯あたり3万円

成果目標

対象世帯見込数の9割以上に給付金を給付する。⇒ 結果 9割以上に給付できた。

事業実績

期間R5.6～R6.3

支給実績 1,525世帯×3万円＝45,750,000円

事務費 2,270,712円(システム改修費負担金、時間外勤務手当、口座振込手数料ほか)

事業費

48,020,712円(交付金全額充当)

事業評価

住民税非課税世帯の生活支援に寄与できた。

②スマイルしろいし商品券給付事業

総合戦略課
重点プロジェクト係

事業概要

新型コロナウイルス感染症及びエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減を図った。

【類似事業】R2 R3 R4あり



成果目標

効果的な情報発信を実施し、商品券換金率95%以上を目標とする。 ⇒ 結果98%以上の換金率となる。

事業実績

期間R4.5～R5.3

- ・事業主体 白石町、白石町商工会
- ・給付対象者 令和5年6月1日現在、白石町の住基台帳に登録されている者
- ・給付額 1人につき4,000円(500円×8枚綴)
- ・商品券利用期間 R5.9.1～R5.12.31
- ・取扱事業者数 196店舗

- ・発行総額 85,660,000円
- ・換金額 84,534,000円
- ・未換金額 1,126,000円
- ・換金率 98.69%

事業費

92,796,280円(交付金全額充当)

事業評価

新型コロナウイルスにより落ち込んだ町民の生活を支援し、については地域経済の回復に寄与した。

③海苔養殖資材価格高騰対策事業

農村整備課
水産林務係

事業概要

コロナ禍において、海苔養殖業に係る資材価格の高騰が海苔養殖業の経営を圧迫していることから、負担軽減のため補助金を交付し事業継続を支援した。

- 補助対象者 佐賀県有明海漁業協同組合
- 補助対象資材 ダンボール、ラッカサン
- 資材価格高騰額 ダンボール:70円/枚 ラッカサン:3円/枚
- 補助金額 資材使用量×資材価格高騰額

【類似事業】R4あり

成果目標

対象事業者への支給率100% ⇒ 結果 100%

事業実績

期間R5.9～R6.3

ダンボール 70円×17,000枚＝1,190,000円

ラッカサン 3円×374,488枚＝1,123,464円

事業費

2,313,464円(交付金全額充当)

事業評価

海苔養殖業の事業継続の後押しに寄与できた。